72　昨日のわたしより今日のわたし　夢かなえたい

き　障害のある方の「コンサートをしたい！」という思いを聞いて

「わたぼうしコンサート」という障害をもつ人のコンサートを聴きにいった人が「私たちもやってみたい」と言いました。それに応えた有志が地域の施設・作業所を巻き込み、平成8年の「第1回丹波の森ふれあい劇場」の実現につながりました。

みんなで合奏・合唱

概　「丹波の森ふれあい劇場」を開催しています

障害のある人も、ない人も、それぞれの違いを認め合いながら、舞台で歌や合奏などを披露する「丹波の森ふれあい劇場」を、毎年丹波の森公苑で開催しています。

劇場の開催を通じて、“心のバリアフリーとノーマライゼーション”の地域社会への浸透をめざしています。

成　劇場の盛況と、施設の子どもたちの成長

平成8年の第1回開催以来、毎年開催し、平成16年に第9回を迎えました。最近では文化サークルの出演も増え、回を重ねるごとに盛り上がっています。客席と舞台の一体感もますます強く感じられるようになりました。

また、出演するまでは下を向きがちだった施設の子が、出演することで「スターになったみたい」と喜んで、それ以来自分に自信を持つようになるなど、子供たちの成長の舞台にもなっています。

夢　施設の自立をめざして

平成17年に、丹波の森ふれあい劇場は第10回記念大会という大きな節目を迎えます。これを1つの区切りとして、開催の企画から当日のプログラムまで、より一層、施設の人たち中心の企画へと発展させていくことができればと考えています。

丹波の森ふれあい劇場
実行委員会

代表者氏名：石川憲幸
活 動 地 域：篠山市、丹波市
事 務 所 等：丹波市山南町上滝756山根武
電 話 番 号：0795-78-0494
ＦＡＸ番号：0795-78-0494

ともに取り組んだ団体等

兵庫県、サンテレビジョン、ラジオ関西、各新聞社、市町、教育委員会、社会福祉協議会、婦人会など、多くの団体等の後援を得ています。

2つの部会で効率よく議論

平成10年に実行委員会を組織するまでは、主に協賛金を集めたり、広報や印刷を担当したりする有志ボランティアの人たちと、当日のプログラムを決め、実際に演技をする施設の人たちとが、一緒になって議論していました。
ところが、お互いの思いが強すぎたり、時間が合わずに集まれなかったりと、なかなか意見をまとめることができませんでした。
そこで、「総務部会」と「施設部会」とに分け、お互いに別々に議論を進め、ある程度まとまった段階で全体会を開く、という形態を採ることで、これまでよりもスムーズに話を進めていけるようになりました。

いざというときのための積立金

開催資金は地域に顔が広いメンバーが中心になって、地域の人や企業、団体から協賛金を集めて回っています。
もちろん、そのときに集めたお金で賄えれば問題ないのですが、いつも必要なお金が集まるとは限りません。毎年集まったお金の中から少しずつ積み立て、困ったときに使えるように備えています。

求ム!

第10回丹波の森ふれあい劇場は、平成17年6月12日（日）、丹波の森公苑で開催されます。
10周年記念劇場とすべくスタッフ一同は計画を進めています。是非おこしください。

親子で太鼓演奏

ステージを楽しむお客さんたち